

Ⅲ. 理事会と主要活動総括

2020年度RCAの活動は、コロナ禍の影響によりさまざまな制約を受けましたが、そんな中でも、知恵と工夫により従来からの各種活動に加え、RCA内はもとより、まちづくりに関わる各種関係団体等との意見交換・検討会等を重ね、具体的成果を意識した新たな活動を開始し、またひとつひとつの成果を得ることができました。以下主だった検討会と、その中での議論等を踏まえ昨年度重点的に活動した主要プロジェクト等について報告いたします。

1. 各種検討会等

(1) 理事会

毎月第三土曜日に、理事、監事、事務局が出席し、各専門委員会等からの活動報告や各事業計画、予算執行等の審議を実施しています。理事会での報告、審議内容については、毎回詳細な議事録を作成し、各丁目選出理事を通して各丁目自治会等へ展開共有しています。昨年度はコロナ禍の影響により、緊急事態宣言発令中の中止や、初めての試みとしてZOOM活用による各理事リモート参加の併用による開催等、状況に応じた対応を実施してきました。

(2) ワーキンググループ（WG）検討会

一昨年度「組織自体の明確化と強化のためのWG」として発足し、RCA理事長や副理事長、各専門委員会の委員長等が出席しテーマを決めて検討会を定期的実施してきましたが、2020年度はコロナ禍の影響もあり、スポットテーマでの限定的実施となりました。具体的には、RCAの法人化に関する懸案事項や年間の活動総括、活動方針策定等の総代会議案検討等、理事会上呈への事前準備活動としての位置づけの活動にとどまりました。

(3) 連合自治会・RCA合同会議

連合自治会の主要役員とRCA理事長はじめ主要理事が参加して両組織の活動状況及び今後のまちづくりに関する懸案事項等について情報共有し、具体的活動についての両組織の連携調整等をこれまで隔月を基本に実施してきましたが、2020年度はコロナ禍の影響で中止もあり限定的となりました。それでも大きな成果としては郵便局前歩道改善について双方の意見のすり合わせを行い、各丁目自治会の意見集約を行い、その方向性を定め横浜市に申し入れ、今年3月の工事完了の成果を得ることができました。

(4) フェリス女学院大学学生との連携

昨年6月と7月3回にわたりフェリス女学院大学の上期授業（リモート実施）の「都市生活の空間デザイン（緑園都市の地域まちづくり）」に関係理事が参加し、RCAの活動内容やまちの課題等について学生に紹介し、今年のメインテーマとして「既存店舗の活性化」と称し、事前に相鉄グループと連携し、いくつかの店舗にヒヤリングした学生に検討提案してほしい事項を説明、まちづくり課題と併せ受講の全学生に提案要請を行ったところ、100件近い提案が寄せられ、その後その提案についての整理分析を行い、関係団体等との共有はもとより、個別フォロー等の活動を実施中です。（具体例としては駅前活性化プロジェクト活動報告参照）

(5) 相鉄グループとの連携

一昨年度7月より隔月に一回、相鉄グループ（相鉄不動産、相鉄ビルマネジメント等）とRCA理事長はじめ主要理事との定期的な会合を実施してきましたが、コロナ禍により定例会合は中断状態です。一方で前項のフェリス女学院大との連携にもからむ、既存店舗の活性化活動においては、テナント店舗の貸主の立場でもある相鉄ビルマネの担当者と連携し適宜リモート、リアルの会合を重ねて現在も継続的活動を実施中です。また駅前の緑化推進活動において「緑園花と緑の会」と緑園都市駅側である相模鉄道とその活動連携の調整会合を重ね、連携した活動の実施に加え「覚書」を締結することができました。

2. RCAのNPO法人化プロジェクト活動報告

既に過年度の総代会において推進するよう決議頂いたRCAのNPO法人化プロジェクトにつきましては、定款作成の過程で次のような大きな障害が生じ、NPO法人化のための活動自体を中止せざるを得なくなりました。

主な理由は、NPO法人が会員資格に制限を設けられないことによるものです。そのため、仮にRCA会員として緑園（緑園関係者も含む）以外の住民にも門戸を広げるとしたら、RCAの「緑園住民の緑園住民による緑園住民のための街づくり活動」という組織の大前提が崩れることとなります。

今回のNPO法人化プロジェクトの推進に当たっては、多くの方々のご協力を得ました。誠に遺憾ながら、このような形で会員の皆様のご期待に沿える結果とならなかったことについて、謹んでお詫び申し上げます。

3. 緑園都市駅前の活性化プロジェクト活動報告

緑園都市駅前の活性化については、一昨年度より活動方針のひとつとして掲げ、RCA内はもとより、大学のまちである側面も踏まえフェリス女学院大学の学生、連合自治会、相鉄グループ等との意見交換を実施し以下のテーマを設定しました。その中で直ぐに具体的活動に落とせるいくつかテーマの深堀りを行い、その活動を推進したことにより、第一歩を踏み出すいくつかの成果を得ることができました。今後徐々に地域住民の皆様はじめ関係者の輪を広げ、他の中長期的な目線でのテーマ等にも継続的に取り組む、まちづくり推進組織の母体形成へつなげて行ければと考えております。

(1) 駅前活性化主要テーマの検討

- ①既存店舗の活性化（短期的視点）
- ②今後の緑園らしい新規店舗誘致促進等の企画（中長期的視点）
- ③駅前からフェリスまでの歩道の改善
- ④駅前周辺の緑化推進
- ⑤駅前活性化のための将来のあるべき姿の再構築（中長期的視点）

(2) 駅前からフェリスまでの歩道の改善活動報告

緑園都市駅からフェリス女学院大学へ向かう緑園都市入口交差点までの歩道は、緑園地域での最大規模の通行者数にも拘らず、歩道幅が極端に狭いことによるトラブルや事故の懸念から、住民や学生等から改善を願う切実な声があります。過去平成27年度に連合自治会、RCA、フェリス女学院大学連名で横浜市に改善要請した経緯がありましたが、ガスト前の一部区間のみの植栽除去による歩道拡張とガードレール設置が試行として処置されたままになっていました。

そこでRCAとしては連合自治会と連携の上、郵便局前からガスト前までの本格施工実施について前回同様、三者連名での要望書を作成し横浜市泉土木事務所に昨年2月に申し入れを行いました。その後対応方針に関わる認識、意見の相違等が発生したため、連合自治会、横浜市泉土木事務所との調整を重ね、各丁目自治会に状況と複数の対応案の説明を行い、まちとしての意見を集約する形として、最終的には「植栽帯の幅を削減し（5～7割カット）歩行者通行幅を拡張する」という案で合意を頂き、横浜市にその旨申し入れを行い、今年3月に工事が完了しました。



(3) 既存店舗の活性化（短期的視点）活動報告

駅両サイドのテナント等駅周辺の店舗の活性化について、まず学生の街の視点から手を付けてみよう、これまでの経緯からフェリス女学院大学の「都市生活の空間デザイン（緑園都市の地域まちづくり）」の授業の枠組みを活用して、学生と一部の既存店舗を巻き込んだ活動を実施中です。具体的には授業にRCAとして参画し、緑園のまちの課題、RCA等のまちづくりへの取り組み等説明し、その一環での既存店舗の活性化への提案要請を行いました。これに先立ちテナントの管理側で店舗の貸主でもある相鉄ビルマネの協力のもと複数の店舗に、学生が望むサービスやメニュー等学生に提案してほしい事項をヒヤリングしました。その結果既存店舗に関して約40件の提案があり、その結果を各店舗へ個別にフィードバックを行いました。コロナ禍の中ではありましたが、その後個別店舗と学生の意見交換等重ね、2月に試食会（一部テイクアウトによるリモート）を開催し、春の大学登校再開時の「春のフェリ女ランチ」としてさらなる詰めの対応を実施中です。

(4) 駅前緑化推進へ向けた取り組み

緑園都市駅はまさに緑園の玄関口です。その玄関口をいつも緑と花であふれるまちにしようという趣旨のもと、緑化推進委員会が「緑園花と緑の会」を住民から会員を募り6月に17名の体制で立ち上げました。本企画にあたり、相鉄グループと継続的に打ち合わせを実施し、現状の対象区画の植栽等の所有権等の管理区分を明確化し、駅両側の植栽樹やロータリーや歩道等への通年での植栽とその維持管理等に関して具体的提案を行

いました。その結果相模鉄道とRCAの間で駅周辺の緑化推進活動に関する「覚書」を
交わし、両者で協力して緑化推進することとなりました。初年度の具体的活動成果とし
ては、駅東側出入り口のスペースにプランターによる花壇の構築、駅東西ロータリー近
辺の植栽整備等、相模鉄道の協力も得て目を見張る成果を得て、その後も水やり等の維
持管理を継続的に実施中です。

IV. 取組んだ活動について

1. 快適で安全な居住環境の維持・創造に関する活動



◀ 緑化推進活動 ▶

緑化推進活動として「私たちのまちを緑と花のあふれるまちにしましょう！」を合言葉
に下記の活動を推進致しました。特に駅前活性化プロジェクトの一環として「緑園花と緑
の会」を発足し6月より活動を始めました。

(1) 「花壇の維持管理（年間）」と「花の植替え活動」への実施

地域のメイン通りや共用施設にある花壇とプランターに花苗の提供と支援を行いました。

- ① 遊歩道花壇 → 緑園花と緑の会による植替え(5月、10月)。
- ② 駅前プランター → 理事による植替え(5月)、緑園花と緑の会植替えと水やり(11月～)。
- ③ 集会施設花壇 → 緑友会による自治会館・クラブハウス花壇植替え(5月、10月)。
- ④ 駅西口ロータリー花壇 → タイムカプセル周り等4カ所を緑園花と緑の会植替え(5月、10月、)
- ⑤ 遊歩道北側花壇 → 緑園花と緑の会による花壇植え替え(5月、10月)。

(2) 「花の頒布会」の開催（緑園東小学校校庭）

- ① 春の頒布会(5月)・・・新型コロナ感染防止策の為開催中止となった。
- ② 秋の頒布会(10月)・・・花の種類:パンジー他、来場者 297 世帯、頒布数 4,320 株
※秋の頒布会終了後、会場を提供している緑園東小学校の緑化推進活動に協力し、花の苗
を約 250 株寄贈。他に四季の径・会館花壇に寄贈、開催チラシ地域住民に回覧

(3) グリーンバンク制度（花木のリサイクル）の推進（通年活動）

各会員の家庭で増やした花や球根或いは不要になった樹木等を、必要な家庭に提供す
るため、「花の頒布会」会場や事務局で預かり必要とする会員の家庭に無償提供しました。

(4) 園芸用品の活用

- ① 園芸道具の貸出し(通年) ⇒ 貸出し希望の会員のご家庭に無料に対応しました。
※道具の種類：高枝バサミ、芝刈り機、薬剤噴霧器、脚立、刈込みバサミ、鋸、シャベル
等。
- ② プランターの貸与(通年) ⇒ RCA特製プランター(在庫分)をまだ一度も貸与さ

れていない会員の家庭などで希望される会員に貸与しました。また、現状在庫数の棚卸を実施しました、保管在庫数 151ヶ確認した。

(5) 「緑園花と緑の会」が発足し活動始まる

- ① 緑園都市駅前を花と緑で整備し、地域の玄関口の活性化を図ることを目的で「緑園花と緑の会」の会員の募集し6月に発足会を開催し活動を開始しました。
- ② 令和2年度会員は17名で毎月1回共同作業を実施、緑園都市駅東口花壇を中心に駅周辺の改善作業実施し、令和3年より適用の相模鉄道(株)と覚書を締結しました。



(6) その他

RCA も協賛し 4 丁目西管理組合の環境植栽委員会を中心に発足した“緑園都市緑化推進クラブ”が横浜市の地域緑のまちづくり事業“に応募し採択されました。四季の径を中心とした緑園3丁目、4丁目、6丁目地域の緑化を提案したもので、令和3年4月から3年間で総額1,500万円の助成を受け緑化を進めていく予定です。今後メンバーを募集し本格的な活動を進めていく予定です。

| 既存地緑化 (1) | 緑園都市緑化推進クラブ 活動概要図 | 公有地緑化 |
|---|--|---|
| A. 四季の徑の古い戸建て 2段階植栽計画フェンスへのハンギングバスケット  |  | a. 四季の徑の古い戸建て バンコ周辺のプランターで緑化  |
| B. サン・ステーション西の街 壁面緑化  | | b. 四季の徑の季節ゾーン シンボルプランター【季節の順に示れる植栽でゾーン表示】  |
| C. サン・ステーション西の街 緑地の緑化 管理緑地、スポーツ林画  | | c. モゾーンの緑地 (4丁目側1) サン・ステーションの緑地のプランター設置  |
| D. 相鉄ライフ-緑園都市駅 相鉄Gと協業で活面緑化、緑地の緑化を進める【花と緑の会協賛】  | | d. モゾーンの緑地 (4丁目側2) 4丁目側緑地の緑地にプランター設置  |
| E. 義務教育学校の通学路古い植栽 プランター・植栽、フェンスへのハンギングバスケット等  | | e. モゾーンの緑地 (3丁目側) 3丁目緑地にプランター設置  |
| | 既存地緑化 (2) *A: 四季の徑の古い戸建てと同様に道路に面する場所の植栽への補助を行うエリア  | f. 並木ゾーン 相模鉄道フェンス沿いの緑地をプランターで改善  |

《まちづくり・環境整備活動》

(1) 安全・安心・温かいまちのために

住民が安全で安心して暮らせる住宅地を実現するため、継続して下記の活動に取り組みました。

①防犯カメラの維持管理活動

防犯カメラ合計 8 台(駅東西出口 4 台、四季の径歩道トンネル付近 2 台、1 丁目遊水地周辺 2 台)の保守管理に努めました。



また、犯罪事件発生に基づく警察からの画像の協力要請に対しましては、引き続き「防犯カメラ等運用細則」に基づき対応致しました。

6 月：犯罪捜査のため、画像閲覧要請あり対応する。

12 月：防犯カメラ・レコーダーの定期保守点検

1 月：緑園都市駅西口広場高木選定の際、カメラ視界を広く確保した。

2 月：四季の経の木選定の際、カメラ視界を広く確保した。

(参考画像)

緑園都市駅東口 交番方面



緑園都市駅西口 3 丁目方面



②「青色回転灯搭載防犯パトロールカー」(通称：青パト)の推進

(「緑園地区防犯パトロール協議会」と協働推進)

青パトは RCA が計画・立案して立ち上げ、緑園連合自治会と連携した組織「緑園地区防犯パトロール協議会」に対し、車両(駐車場を含む)と活動拠点(RCA事務所)を提供、活動を側面から支援しています。

- ・コロナ禍の影響を配慮し、代替総会を開催、議案書(前年度活動報告、決算報告、新年度活動方針(案)、新年度予算(案))に関する質問・意見書に対する答弁書を配布・回収、採決(4月)。
- ・今年度は、小学生の下校時間帯に絞り、児童の安全を図るための徒歩による見守りを実施(通年)。
- ・RCAの通常業務の日には、防犯パトロール協議会とは別に巡回を実施致しました(通年)。
- ・防犯情報の共有化を図るため会報を発行致しました。また、『火曜日 15:30 担当』の班では別途会誌を独自発行し隊員に配布しました。



- ・防犯講習会は、講習資料配布に変えて開催(11月)
- ・役員会を定期的に行う(コロナ対応策を検討)

(2) 美しいまちのために



① まちの顔（緑園都市駅前・四季の径）を美しく

- ・年末一斉清掃の実施（緑園連合自治会と共催）（例年12月）

新型コロナウイルス感染防止のため一斉清掃は中止し、各自治会に活動をお願いしました。4丁目西自治会では自治会有志により四季の径落ち葉の回収を3回実施しました。

- ・「四季の径」の除草・落ち葉の回収（例年2月）

遊歩道を気持ちよく歩けるよう行政が行なう年2回とは別に業者に委託していますが、今年度は中止とし“緑園都市緑化推進クラブ”と横浜市泉土木の協議の中で、より効果的な対応のため見直しを行っています。次年度は冬場ではなく、雑草がより課題となる夏季の実施を計画しています。

四季の径 トンネル 緑園都市方面



② グループの清掃・美化活動への協力・支援

集会場花壇の管理・駅前の清掃活動をしている南・北緑友会を支援致しました。

③ 「緑園まちづくりガイドライン（紳士協定）」を守るための協力要請

緑園の住環境・景観維持のための自主基準「ガイドライン」の周知に努めました。緑園の中で行われる新築・改築の際、建築主・業者にガイドラインの内容を説明し、協力を要請しました。



④ 住まいのまちなみコンクール入賞

（一財）住宅生産振興財団主催、国土交通省他後援の「第16回住まいのまちなみコンクール」に緑園地域をRCAとして応募し、このたび「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。このコンクールは、地域の特性を活かし、魅力的な住まいのまち

なみを育む維持管理、運営などの活動に実績を上げている住民組織をまちづくりのモデルとして、全国の5地域の団体に対して表彰、支援されるもので、緑園地域の受賞については日本経済新聞（2/20 朝刊別冊）やタウンニュース等でも紹介され、該当団体のHPでは以下の紹介をされております。

https://www.machinami.or.jp/pages/contest_result16.shtml



住まいのまちなみ賞

団地名：横浜市泉区緑園地区（神奈川県横浜市）

団体名：緑園都市コミュニティ協会

戸建住宅地と分譲集合住宅団地と駅前商店街を有する大規模開発の中で、まちなみの骨格を形成する街路空間の維持管理を中心に、戸建だけでなくマンションも率先してまちなみづくりに参加するHOA（Home Owners Association）の仕組みが持続している

これまでの RCA の地道な活動が評価され、横浜市建築協定連絡会、環境創造局など各方面からも受賞のお祝いの言葉をいただきました。

今後三年間にわたり、毎年維持管理活動支援費（50 万円）をいただくため、計画的に活用させていただく予定です。

（3）コミュニティで情報を共有し、絆を強めるために

今年度におけるフェリス女学院大学緑園キャンパスや横浜緑園高校、緑園東・緑園西小学校、事業者の協力を得て実施する「一斉清掃」など各種共同作業につきましては、一部を除いてコロナ禍の影響を配慮して自粛・中止と致しました。

（4）横浜市立緑園西小学校の後利用

今年度はコロナ禍にあることもあり、従来定期的に行われていた街の関係者と行政（横浜市）との意見交換会は開かれず、代わりに連合自治会関係者が役所へ出向き説明を受けた後に、その内容について街の関係者が報告を受けるといった形がとられました。そのため、当該プロジェクトの進捗状況が必ずしも明確ではなく、今後改善の余地があります。

2. 会員相互の充実した交流を支援する活動

《 国際交流活動 》

年度を通じてコロナ禍にあり、十分な活動はできませんでしたが、感染対策やメールの活用など、色々と工夫して以下の活動を実施しました。

（1）トークサロンの開催

2020年10月24日（土） 13:30-14:45

第149回 表題：ポーランド留学に行ってきました



講師：伊達 由美香 様 緑園在住

コロナ禍が続く中、消毒・体温測定や換気・座席間隔を空け、十分な感染防止対策を行なったうえで、緑園在住の大学生を講師に招き、2020年1月以来 9ヶ月振りに緑園クラブハウスにてトークサロンを開催しました。

(2) イヤーエンドパーティの開催（例年12月）

- ・毎年12月に留学生やその友人などを招き日本の伝統芸能紹介や大学サークルによる踊りなど多彩なアレンジにより緑園住民との交流を深める行事として定着していましたが、三密が避けられないため中止しました。

(3) 姉妹住宅地ラドバーン

- ・ラドバーン小学校と緑園東小学校4年生の文通を行なっています。
- ・毎年ラドバーン協会と年末年始のSeason's Greetings cardを交換しています。
- ・外部委員より、ラドバーンに住まいのまちなみコンクール入賞をお知らせしました。受賞に際し、緑園とラドバーンとの関係についても、応募書類や面談などで説明しました。
- ・ボランティアの方より、緑園の冬景色の写真をメールした処、お返しにラドバーンの街並みの写真が送られてきました。

(4) その他

- ・日本語スピーチ大会は、オンライン開催になりました。

《 広報活動 》

(1) 「RCAだより」の発行

RCAの広報紙「RCAだより」を2回発行し、全戸に配布すると共にホーム・ページ（緑えんネット「RCAコーナー」）にも掲載し住民への周知に努めました。

- ・5月号：総代会要約版 イベント案内他
- ・10月号：まちなみコンクールに応募、緑と花の会スタート・イベント、緑園都市緑化推進クラブ案内他

(2) 緑えんネットおよびRCAコーナーの運営 <http://www.ryokuen.gr.jp/>

- ・緑園地域での各種行事予定、活動報告を緑えんネットに掲載致しました。また、記事の掲載が簡単な、フェイスブック「緑園ネット」も活用致しました。
<https://ja-jp.facebook.com/ryokuen.net/>
- ・サーバーの維持管理を委託、ホーム・ページ「緑えんネット」のスムーズな運用に努めました。
- ・体制の見直しに関しては検討が進みませんでした。移行先のWordpress化はプロトタイプを作成し検討しましたが、既存のホームページデータ移行は自動化できない事が判明し次年度対応を検討しています。

(3) 緑園地域の広報活動

- ・イベント・行事のポスターを各丁目掲示板に掲示し、住民の皆様への周知を徹底。
- ・皆様からの街に関する各種「問い合わせ」に対し、判る範囲で回答、対応に努めました。

(4) RCA の活動内容を紹介するための活動

フェリス女学院大学祭は、コロナ禍の影響を配慮して中止となりました。



《 周回バス路線の検討 》

RCA は「緑園バス運行推進協議会」を緑園連合自治会、緑園地区社会福祉協議会、緑友会、東花会と連携しメンバーとして活動を支援しています。昨年度は地域新交通システムの視察や調査検討等を実施した旨報告を受けております。

《 青少年交流事業 》

青少年のスポーツ活動を通じて地域貢献に取り組む NPO「横浜ラービークラブ」を支援しています。昨年度は「横浜ラービークラブ杯野球大会（第 19 回横浜隼人杯ルーキートーナメント）」の決勝トーナメントを実施対応の他、緑園東花会が主催する月 1 回町内清掃活動への参加等地域の環境整備等にも協力したとの報告を受けております。

《 子育て支援事業 》

将来の緑園の街を背負う子供たちの育成のため、緑園地域で子育て活動を行っているグループの内、ピッコロひろばの運営に充てる費用に対し支援しました。

活動内容は、子育て中の養育者とその子供達がいつでも気軽に立ち寄り遊んだり、友達を作ったり、子育てについての悩みを相談できる親子の居場所を運営しています。その他、お子様の一時預かりや地域内の子育て支援団体と連携し子育て支援の現状と課題を話し合う「緑園地区子育てネットワーク会議」を開催したとの報告を受けております。



《 イベント開催支援活動 》

緑園地域における住民同士の交流とコミュニティ形成の広がり促進を目的で活動しているサークルに対し広報など側面からの支援や住民参加を対象に開催したイベント企画の開催は、コロナ禍の影響で中止となりました。

3. 地域活動・行事への参画

(1) 地域との交流

- ①地域主体の祝賀会は中止となりました。
- ②地域活動団体支援として「緑園サロン」、「緑園地区シニアクラブ連合会」活動を支援。

(2) 小学校行事

主な学校行事（入学式、運動会卒業式）は、新型コロナウイルス感染防止のため、来賓は、除外となりました。

(3) 緑園会館運営委員会に委員を派遣

- ・集会施設（クラブハウス・自治会館）の維持管理を担当する会館運営委員会に理事を派遣し、建物の運営・維持管理に努めました。
- ・主たる活動として、自治会館内裝修繕工事を実施しました。

